

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
1	1	I(1)②市民参加型行事の促進 II(1)①鑑賞と発表の場の充実 ②情報の収集と発信	「祭り」や「にぎわいイベント」も文化の一つかもしれない。一度足を踏み出せば楽しさを実感できるので、情報発信の工夫(魅力的な広報)と地区毎の魅力的なイベントの工夫について検討してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、P15に記述を加えました。今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、多くの方に祭りやイベントの参加を促進できるよう、情報発信の方法等を検討する際の参考にさせていただきます。	15 16 22
	2	その他	財源確保の手法について、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)もあるので、検討してほしい。	文化事業の必要性やそこに予算が伴うことを広く認識してもらうこともビジョンの策定意義でございます。財源確保の手法等につきましては、ご指摘の方法も含め検討してまいります。	-
2	3	II(1)①鑑賞と発表の場の充実	華道は生活文化の中にあるが、お稽古をする人が減少している。文化を活かしたまちづくりとして、まずは高校の部活動の一つとして、生け花活動を取り上げていただきたい。	ご意見を踏まえ、P22「鑑賞と発表の場の充実」に部活動等の記述を加えます。今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。なお、ご意見につきましては学校関係者にお伝えいたします。	22
3	4	その他	キャッチフレーズは、「神話・伝説・伝統文化で伸びようかー」ではどうか。	基本理念は「歴史と文化に親しみ 豊かな心を育むまち のべおか」とさせていただき、特に「郷土にまつわる歴史や神話等」を文化の領域に含めましたので、その中で取り組んでまいります。	-
4	5	I(2)①文化財の周知と保護、活用	故黒木明氏(野田町)が収蔵されていた昔の生活用具や農機具は市に寄贈されているが、現在は全く活かされていないようです。資料館でも造って、子どもたちの学習や団体の社会見学に役立てたらどうか。	現在、ご指摘の生活用具や農機具は民俗資料室(東本小路)に収蔵、展示しており、市内の小学生の校外学習や福祉施設に入所されている方々の見学等に活用されております。今後、より多くの方にご来場いただけるよう、市民へのさらなる周知に努めてまいります。	17

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
5	6	I(2)③郷土にまつわる歴史・神話の活用	道の駅北川はゆまにガイドボランティアを置き、宿陣跡資料館、御陵参考地、小倉処平記念館、上祝子の神さん山、笠沙山を結ぶ観光ルートを設定してほしい。	現在、北川地域の観光につきましては、有償ガイドや地区のボランティアも立ち上がっておりますので、ご提案の件も含め、連携を図りながら、多くの方に北川町内を周遊していただけるよう検討してまいります。	18
	7	I(4)①歴史民俗博物館の建設	内藤記念館再整備に係る新施設について、指定管理者を設け、有料入場としてほしい。	入場料につきましては、博物館法により公立博物館はやむを得ない場合を除き入館料を徴収できないと規定されておりますので、通常展示は無料とし、特別展示等の場合は有料を想定しております。その他、運営方法等につきましては、内藤記念館再整備事業を進める中で検討してまいります。	20
	8	I(4)①歴史民俗博物館の建設 Ⅲ(1)①野口遵記念館等の建設	内藤記念館再整備に係る新施設と野口遵記念館を動線で結ぶルートを設置してほしい。	野口遵記念館建設基本構想・基本計画においても、歴史文化ゾーンを活かすために、両施設を動線で結ぶことを想定しておりますので、内藤記念館再整備事業と野口遵記念館建設事業を進める中で検討してまいります。	20 23
	9	I(4)①歴史民俗博物館の建設 Ⅲ(1)①野口遵記念館等の建設	これから延岡市では、複数の文化施設整備が計画されており、以下の事項について考慮してほしい。 ①各施設のトップには、国内外も視野にその専門家を登用すること。 ②運営スタッフには、分野に詳しい学芸員や音楽家等が必要であり、計画的な人事を行うこと。 ③現在の文化課には優れた専門性や総合性を有している人材がいるので、その専門性を十分に発揮できる体制を考えること。	内藤記念館再整備事業と野口遵記念館建設事業を進める中で、これらの施設の管理運営手法等につきましては、具体的に検討してまいりますので、ご意見につきましては、その際の参考にさせていただきます。	20 23

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
6	10	I (2) ①文化財の周知と保護、活用 ③郷土にまつわる歴史・神話の活用	旭化成に代表される「ものづくりの街」延岡において、その源流の一つである小峰焼(小峰町)の再生はいくつもの効果があると考えます。アイデンティティの醸成、伝統文化の継承、歴史講座での活用、ものづくり体験、お土産品やふるさと納税品での活用など。次世代の方が陶芸家だけで生活することは容易ではないが、販売だけでなく様々な文化活動と組み合わせれば十分に可能と思う。	いただいたご意見は、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、市指定史跡「小峰窯跡」やその歴史や文化などの活用につきましても、その中で検討してまいります。	17 18
	11	その他	後世の大きな財産・指針となる市史編纂については、アマチュアが安易に参画しゆがめられることのないように留意していただきたい。勿論、資料の収集や保存などはスピード感を持って取り組んでいただきたいと思うが、是非文化課が主軸になって専門家と協力しながらじっくりよいものを作ってほしいと思う。	市史編纂につきましては、多くの時間と労力、経費を伴う大事業ですので、実施につきましては十分な協議検討を行います。	-
	12	I (2)①文化財の周知と保護、活用	西階地区には、歴史、史跡、文化、偉人が多くあり、これらの魅力を活かした地域にしていきたいので、行政の支援をお願いしたい。(南方古墳群、地藏ヶ森遺跡、小峰窯跡、松尾城、西階城、のぼり猿製作所、川辺駅跡など)	「歴史・文化遺産の周知と保護活用」の中で、南方古墳群や松尾城跡等についても本市の貴重な文化財として示しておりますので、いただいたご意見は、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、その際の参考にさせていただきます。また、できる限りの支援はさせていただきたいと考えておりますので、具体的な内容につきましては、文化課までご相談をお願いします。	17
	13	I (2)①文化財の周知と保護、活用	南方地区、西階地区の史跡や文化財の看板設置、整備をお願いしたい。	看板設置等につきましては、現在、指定文化財を中心に行っておりますので、引き続き順次整備を進めてまいります。また、その他文化遺産の整備につきましては、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、その際の参考にさせていただきます。	17
	14	I (2)①文化財の周知と保護、活用	南方地区、西階地区のガイドマップや解説本を作りたいので、ご支援をお願いしたい。	できる限りの支援をさせていただきたいと考えておりますので、具体的な内容につきまして、文化課までご相談をお願いします。	17

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
7	15	I(2)①文化財の周知と保護、活用	松尾城の整備をお願いしたい。	松尾城は面積が広大で、公園部分以外は民有地となっていることでもありますので、できる範囲での管理に努めながら、松尾城の周知や活用等について、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討をしていく際の参考にさせていただきます。	17
	16	I(2)①文化財の周知と保護、活用	天下神社にある古墳の発掘をお願いしたい。	天下神社にある古墳は、国指定史跡南方古墳群として重要な史跡として保護管理されているため、発掘など手を加えることは規制されておりますので、一度国と協議したいと思っております。	17
	17	I(2)①文化財の周知と保護、活用	南方古墳群第14号墳の整備をお願いしたい。	地元からのご意見を受け、法面の土砂流出による古墳の毀損防止や災害防止の必要性もあつたことから、文化庁と協議を重ね、昨年度、石棺周囲の法面整備を行いました。今後も状況等に留意してまいります。	17
	18	I(2)③郷土にまつわる歴史・神話の活用	山内善吉邸跡(大貫町)の前に、西郷隆盛の資料館を作してほしい。	西南の役の戦跡は北川町だけでなく市内随所にあることは、P18の「郷土にまつわる歴史・神話の活用」に記述を加えます。資料館設置につきましては、費用等の課題もございますので、西郷隆盛宿陣跡資料館を拠点施設として、市内の戦跡等も含め広く周知してまいりたいと考えます。	18
	19	I(2)③郷土にまつわる歴史・神話の活用	縣土持氏の資料館を作してほしい。	縣土持氏など本市の領主の存在はP18の「郷土にまつわる歴史・神話の活用」に記述を加えます。資料館設置につきましては、費用等の課題もございますので、内藤記念館再整備において展示紹介を行っていきたいと考えております。	18
	20	Ⅱ(1)①鑑賞と発表の場の充実	学校の芸術教科(美術・音楽等)の授業は、子ども達には文化芸術に触れる最初の機会になるので、時には広い会場を使って保護者や一般にも授業を公開するなど、大胆に改革してほしい。	いただいたご意見は、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、その際の参考にさせていただきます。なお、ご意見につきましては学校関係者にお伝えいたします。	22

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載ページ
8	21	I (2)③郷土にまつわる歴史・神話の活用	「郷土を知り、愛する心」を育む教育を実施し、子どもや大人にも理解できる良質な「郷土史ブック」を作ってほしい。学校の教材として、各家庭に、就職、卒業記念、コミック版などでの活用もできると思う。	現在は、小中学校の副読本として、「わたしたちの郷土 延岡市」を作成し、学校現場で活用しているところですが、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、いただいたご意見も、その際の参考にさせていただきます。	18
9	22	II (1)①鑑賞と発表の場の充実	市内には、公営駐車場が少ないので、空家や空店舗を買い取り市営駐車場として活用できたらよいと思う。映画、カラオケ舞踊大会など市民が気軽に市内に行けるような良い知恵はないだろうか。	「親しみやすい文化活動の推進」や「文化芸術活動の場づくり」のための課題の一つと捉えておりますので、いただいたご提案につきましても、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討する際の参考にさせていただきます。	22 24
	23	I (4)①歴史民俗博物館の建設	市の文化振興施策について、特に歴史美術分野に関しては内藤記念館再整備に係る新施設が拠点になると思います。新施設では、地域の特色を生かした企画・運営をすべきと考えます。国宝や重要文化財を含む一流の美術品を、もっと身近に触れる機会を作ったり、美術界における最新の傾向やトレンドを知ってもらうなど、施設側が積極的に仕掛けを行う必要があります。市民はもちろん、市外からの集客することが重要になると思います。そのために展覧会の企画、誘致、宣伝広告、予算など全てに関わりコーディネートできる人材の確保や年に2～3回程度の企画展覧会の開催、可能であれば黒字化を目指すことのできる運営を考えてみるべきだと思います。例えば、NPO法人への運営委託も有効だと思いますし、小学校とも連携して、延岡の歴史・文化を子ども達に理解してもらうような教育プログラムも大事になってくると思います。少子高齢化の中で、新施設の有意義な活用を模索していただきたいです。	内藤記念館再整備事業を進める中で、運営の在り方につきましても、具体的に検討してまいりますので、いただきました多くのご提案につきましても、その際の参考にさせていただきます。ご期待に添えるよう努力いたします。	20

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
10	24	Ⅲ(1)①野口遵記念館等の建設	<p>音楽・芸術などの舞台芸術分野については、野口遵記念館をいかに活用するかが重要になってくると思う。700席程度の中規模音楽ホールということで大変期待している。しっかり協議して市民の宝と言えるような施設を造ってほしいと切に願う。</p> <p>良いホールが出来たからと言って、市民の発表の場に提供するだけでは意味がないので、積極的にコンサートを企画し市民に「一流の文化に触れる機会」を提供する必要がある。本当に質の高い演奏家の誘致を期待している。</p> <p>演劇、能楽などの分野については、専門家とともに考えて市民参加型でしっかりとしたプログラムを組めるのではないかな。</p> <p>市民に上質な芸術に触れる機会を提供するとともに、市民も参加し、ともに文化意識を高めていけるような施設になることを望む。</p>	<p>野口遵記念館建設事業を進める中で、具体的に検討してまいりますので、参考にさせていただきます。</p>	23
	25	Ⅰ(2)①文化財の周知と保護、活用	<p>市内には、江戸中期から後期にかけて焼かれた小峰焼があるので、文化振興および観光客誘致の一つの柱に出来ないか。小峰焼は、日向国を代表する焼物だが、現在陶工は途絶えており、まだまだ認知されていない状況。まず、伝世品として扱われる小峰焼を専門的に研究する機関が必要で、現在残されているものを「小峰焼」として認定していくべきではないか。小峰焼を研究するだけでなく、新たな作家を育てる必要もある。例えば、小峰地区から舞野地区にかけては陶芸活動に最適な地域が広がっている。空家等を活用し、陶芸作家等を誘致し、家賃等の補助を行って自立できるよう支援を行うことで、同地区が「小峰焼の里」として成長できれば観光客誘致にも一役買うことができるかもしれない。</p>	<p>観光や地域づくりの観点を含め、その活用につきましては、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。</p>	17 18

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
	26	その他	市史編纂について、市民の間で市史編纂の機運が高まっている。これまでの延岡市史は、県内他市町村と比べても脆弱であるという批判が多く聞かれたため、歓迎している。是非とも、市役所内に専門部署を新設し、大学や研究機関の協力を得て、様々な分野からなる専門家チームを作り、10～20年のプロジェクトとして完遂してほしい。	市史編纂につきましては、多くの時間と労力、経費を伴う大事業ですので、実施につきましては十分な協議検討を行います。	—
	27	I(2)①文化財の周知と保護、活用 (4)①歴史民俗博物館の建設	「東の棟方志功、西の黒木貞雄」と言われた郷土の版画家黒木貞雄氏の作品を延岡市と県立美術館が収蔵しているが、その活用や顕彰はほぼ行われていない。歴史民俗博物館の建設を機に光を当てるべき。	新施設は美術館機能も備えておりますので、企画展示を行いたいと考えております。郷土作家の周知や顕彰活動に繋がるよう、いただいたご意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。	17 20
	28	I(2)①文化財の周知と保護、活用 (4)①歴史民俗博物館の建設	延岡市民俗資料展示室もPRされず、寄贈された故人、家族のお気持ちに寄り添っていない。市民からすると行政の怠慢でしかない。早急な活用を。	ご指摘も踏まえ、P17に民俗資料展示室を含めて周知、活用を図ることとし、その旨の記述を加えます。	17
	29	Ⅱ親しみやすい文化活動の推進 Ⅲ文化芸術活動の場づくり	市植物園におけるイベント使用の規制緩和その他の施設(本庁市民スペース・図書館ロビー等)の緩和ができれば、市民活動の拡大も考えます。	いただいたご意見は、ビジョンを基に具体的な推進計画等を進める際の参考にさせていただきます。	21～ 24
	30	第4章 ビジョンの推進 (2)文化振興を評価する仕組みづくり	地元在住者や出身者に対する、催しや作品依頼時の無償若しくは安価な報酬や不十分な期間での依頼。文化芸術等携わる方への「公平性欠く扱い」について、行政側の評価、検証の仕組みの確立。	いただきましたご意見につきましては、真摯に受け止め、今後具体的事業等に取り組む中で、配慮してまいります。また、P25のビジョンの推進にありますように、評価の仕組みづくりを検討してまいりますので、参考にさせていただきます。	25

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
11	31	I(1)③郷土の食文化の掘り起しと活用	枯渇状況にある「鮎」に対して、20年以上も前に提言書を作成していたが、ほぼ対策はゼロ。また、ここ数年は、県の条例に違反している「鮎やな」の設置を行ってきている。国の資源保護法の理念にも反しており、早急な関係者全体での意識向上等、必要な施策を講ずるべき。そうでなければ、延岡を代表する食生活文化は「単なる観光」でしかなくなる。	アユ資源回復の取組みにつきましては、川底の砂に埋まった石を掘り起こすなどの生息環境保全や放流事業を実施したほか、県と連携し、引き続き資源量の調査や平成10年3月の宮崎大学等の提言を踏まえた対応の検討等を行ってまいります。	16
	32	I(1)③郷土の食文化の掘り起しと活用	10年ビジョンの「バスク化構想」は、庁内・市民との十分な議論無く進められ、「延岡の食文化」の発信は不可能と考える。「地域に根付いた食」や復活を目指している伝統野菜等にもっと光を当てた戦略での再構築が必要。「バスク」の言葉を使用してよいかも心配で、市民を交えて議論をお願いしたい。	本年6月補正において、より一層第一次産業の振興に繋がるよう、また、県内主要観光地から食を切り口として具体的に観光誘客が実現できるよう、事業の見直し等を行ったところであります。ご指摘も踏まえ、今後さらに市民のご意見もお聴ききしながら必要な事業の展開に努めてまいります。	16
	33	I(2)①文化財の周知と保護、活用	ユネスコ・エコパークの核となる「大崩山」。これまでPRするが保護活動は皆無で順序が逆。保護、保全活動を重視し、願わくば「情報発信・啓発・活動の拠点」となるビジターセンターを建てることで、上祝子地区を「エコミュージアム化」で活性化を図りたい。	いただいたご意見は、今後、ユネスコエコパークの保護、活用の具体的な検討を進める中で参考にさせていただきます。	17
	34	第4章 ビジョンの推進 (1)情報公開、広報活動の推進	周知されず、期間も短いパブコメ。報道にお任せの事業PRを、行政が予算をつけてPRする。審議会委員の公募制導入など。	今回のパブリックコメントにつきましては、意見募集期間を3週間確保しましたが、周知が足りなかった点があり申し訳なく思っております。今後、充分周知を図ってまいります。また審議会委員の公募なども行ってまいりますので、その点も含め、いただきましたご意見につきましては、P25「情報公開や広報活動の推進」や「文化振興を評価する仕組みづくり」の中で、参考にさせていただきます。	25

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
12	35	その他	今回の「パブリックコメントの募集」の広報活動について、友人等に照会したが誰も知らなかった。従来からこのような方法での広報活動だったのでしょうか。パブリックコメントの募集を実施した既成事実だけで満足されているのでは。年配の人たちは、パブリックコメントの言葉だけで、一步後に引かれる。「意見公募」とか「意見提出」とか分かり易い表現も必要ではないでしょうか。	今回のパブリックコメントにつきましては、意見募集期間を3週間確保しましたが、周知が足りなかった点があり申し訳なく思っております。今後、充分周知を図ってまいります。また、意見公募等の表現につきましては、今後工夫してまいります。	-
	36	I (2) ①文化財の周知と保護、活用 ②新たな文化遺産の掘り起し	旧TR高千穂線跡地が切り売りされ、行藤駅周辺は民家が建ち、松山町では駐車場になったりと、汽車が走っていたことも忘れ去られる。せめて、西延岡駅周辺など、例えば「記憶遺産」的な表現で市が認定し、その地区と連携して保存に努めていくことも、文化都市を標榜する延岡市には大事なことではないか。	産業遺産などにつきましては、P17「②新たな文化遺産の掘り起し」としてビジョンにも記載をしているところです。いただいたご意見は、今後、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、その際の参考にさせていただきます。	17
	37	I (1) ①地域の伝統文化の振興 I (2) ①文化財の周知と保護、活用	天下町で行っている「古墳まつり」は、元県知事の肝入りで旧南方村長が村の行事として行った。県内にも相当数の古墳があるが、他の市町村と連携して観光に活かせるのではないか。	いただいたご意見は、ビジョンを基に具体的な推進計画等を検討してまいりますので、その際の参考にさせていただきます。	15 17
	38	I (2)①文化財の周知と保護、活用	南方古墳群にある2ヶ所(大貫、野田)の案内板を見る限り、行政が文化事業に真剣に取り組んできたとは思えない。限られた予算の中で厳しいかもしれないが、内容の更新等は必要と思う。	看板設置等につきましては、指定文化財を中心に行っており、ご指摘の案内板につきましても確認いたしました。引き続き、できる範囲で順次整備を進めてまいりますので、その中で検討いたします。	17
	39	その他	天下町の高速バス停のベンチ後にある「ひむか共和国」という県北を表した地図があるが、どんな意図で制作されたか。南方地区の歴史・文化を否定されているようで、個人的には非常に不愉快。計画、制作の過程での監修等があったのか。	ご指摘いただきました地図は、県北9市町村で構成する宮崎県北部広域事務組合が、観光客向けとして制作した観光案内図ではありますが、いただいたご意見については、事務組合で検討してもらおうよう事務局へ伝えさせていただきました。	-

延岡市文化振興ビジョン(案)に係るパブリックコメント(市民意見公募)及び市の考え方

意見者	No.	関連する基本方針と施策の方向性 取り組みの内容等	意見の概要	本市の考え方・対応	掲載 ページ
	40	その他	最近延岡市史編纂の意見が市民グループから聞こえてくる。しかもグループが主でこの事業をするように聞こえるが、この事業は市教育委員会(文化課)の業務。歴史が好きとか、興味本位のアマチュアの発想で絶対に出来る事業ではない。専門の教育を修め、資格を持った人がリーダーとなり取り組んでほしい。10年かかろうが20年かかろうが延岡市には絶対に必要な事業だと思う。組織編成は、市教育委員会(文化課)現役主導で良書を。	市史編纂につきましては、多くの時間と労力、経費を伴う大事業ですので、実施につきましては十分な協議検討を行います。	-
	41	Ⅲ(1)②既存施設の保守と整備	これまで、建物の中で水廻りを見れば、その地方の文化レベルが判ると言っていた。知の殿堂市立図書館のトイレの床の状態を見て、何とも思わない、気付かない、その連鎖が新庁舎に及ぼうとしている。現代の建物管理の中で、清掃部門を軽視していないか。「サニテーション」「クレンリネス」は重要な要素。是非都会の一流の建物管理の見学をお願いする。	ご指摘を踏まえ、適切な清掃等を行うよう、さらに留意してまいります。	23
	42	Ⅱ(2)文化団体及び後継者の育成	文化振興という観点から考察すると、従来からの考え方、やり方を再考する必要があると思う。勿論、限られた予算、職員数の中でマンパワーには限界もあるが、地域愛、郷土愛的要素を含んだ行政が行われていたのか。市民は、各地域で伝統行事や小グループ単位での文化活動を行っているが、助言や補助もない。市民はPRも下手だが、行政は無関心、無頓着に等しく、過去には意欲を削ぐような対応もあった。その反面、特定の団体、市主導の文化行事には強力なサポートがある。勿論、それも大事だが、弱小グループ、団体に対しても注目し、耳を傾けてほしい。	市民の皆様やそれぞれの地域で活動されている方々のご意見を充分聴くよう努めるとともに、今後、ビジョンを基に具体的に推進計画等を検討をしてまいりますので、いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。	22
13	43	第4章 ビジョンの推進 (2)文化振興を評価する仕組みづくり	このビジョンが具体化され、実践化されるにあたっては、各分野の専門家や市民代表による「のべおか文化振興会議」なるものを組織し、市民にフィードバックさせながら進めてほしい。	ご意見を踏まえ、P25に「3. 推進計画等の策定に向けて」として記述を追加しました。	25